

千葉市動物公園 動物科学館リニューアル

◆メッセージテーマ

「熱帯雨林を知り、学び、ともに共存する」

また、我々人類には太古より多くの恵・貴重な資源を与えてくれました。しかし現在、我々人類はその熱帯雨林を過度に消費し、破壊しつつあります。我々は熱帯雨林についてどれだけのことを理解しているのでしょうか？今回の展示改修は、「熱帯雨林」を様々な視点から体感しながら学ぶエコツアーとして巡り、「熱帯雨林とは何か？」「我々は熱帯雨林に何をしてきたのか？」「今何が起きているのか？」「未来に向けて我々は熱帯雨林に何ができるのか？何をしなければならないのか？」これらのテーマについて、見学者の一人ひとりが、“学び”“考え”そして“必要な行動に変えていく”ことにつながる機会の提供をテーマとしています。

◆本展示監修者

- ・湯本 貴和(京都大学名誉教授・きょうと生物多様性センター長)
- ・盛口 満(沖縄大学教授・イラストレーター)

◆エントランス

エントランスホール

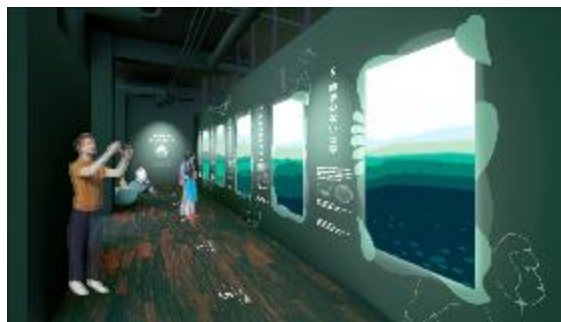


「ボルネオの熱帯雨林」をテーマにフタバガキの樹木と周りを取り巻く生態系をジオラマにて再現し、生物たちの共生関係を伝える。また、フタバガキを中心に人々が集い、学び、憩うホスピタリティエリアとして、休息スペースを新規に設ける。

◆学習展示エリア

第1展示室

熱帯雨林の概要を学ぶ



「歴史・分布・構造・気候・熱帯雨林の1日」を大型モニターを使用しアニメーション映像を中心にビジュアル的に解説する。

第3展示室

分解者の世界



林床の世界に入り込み、ミクロの視点から特異な根や土壌環境、栄養循環について天井投影映像やモニターにて解説する。

第5展示室

地球の循環



熱帯雨林が担っている地球規模の循環を動植物が生きるために欠かせない「水」と「炭素」をプロジェクター投影映像にて解説する。

第2展示室

森と人との関わりを知る



熱帯雨林の減少の理由に私たちの暮らしが関わっている。また、そのことにより起きている影響を映像やグラフィックパネルで解説する。

第4展示室

植物たちの生存戦略



動くことのできない植物たちが分布を広げるために行う様々な戦略を映像やグラフィックパネル、実物標本を使用し解説する。

特別展示室

動物の進化や形態のしくみ



動物たちの生きる工夫や行動の秘密を動物の骨格標本や剥製を通して解説する。また、職員の研究発表をパネル展示で行う。

◆その他エリア

バードホール

熱帯雨林との出会い



実際に熱帯雨林に生息する動物たちを観察しながら、解説パネルを通し生態を学ぶ。
観覧通路をウッドデッキ調に改修し、観察ベンチを設ける。

動物観覧通路

夜行性動物展示通路



展示エリアの壁面に夜行性動物の生態や特異な行動などを暗闇で生きる動物たちの気配を感じながらグラフィックパネルにて解説する。

マーモセット展示通路



観覧通路をマーモセットの生息地である南米アマゾン川イメージした照明や植栽で没入を演出。動物解説パネルも増設する。

育児ルーム(授乳室・キッズスペース)



科学館1階から2階へ移設。授乳室、オムツ替え台は増設し、更にご家族でも利用が可能な「ファミリー授乳室」や「離乳食スペース」「キッズスペース」を新設。キッズスペースは「フォトスポット」や絵本コーナーも備える。